



2021年12月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量が9カ月連続、積込量は10カ月連続、取卸量は9カ月連続で増加

概要

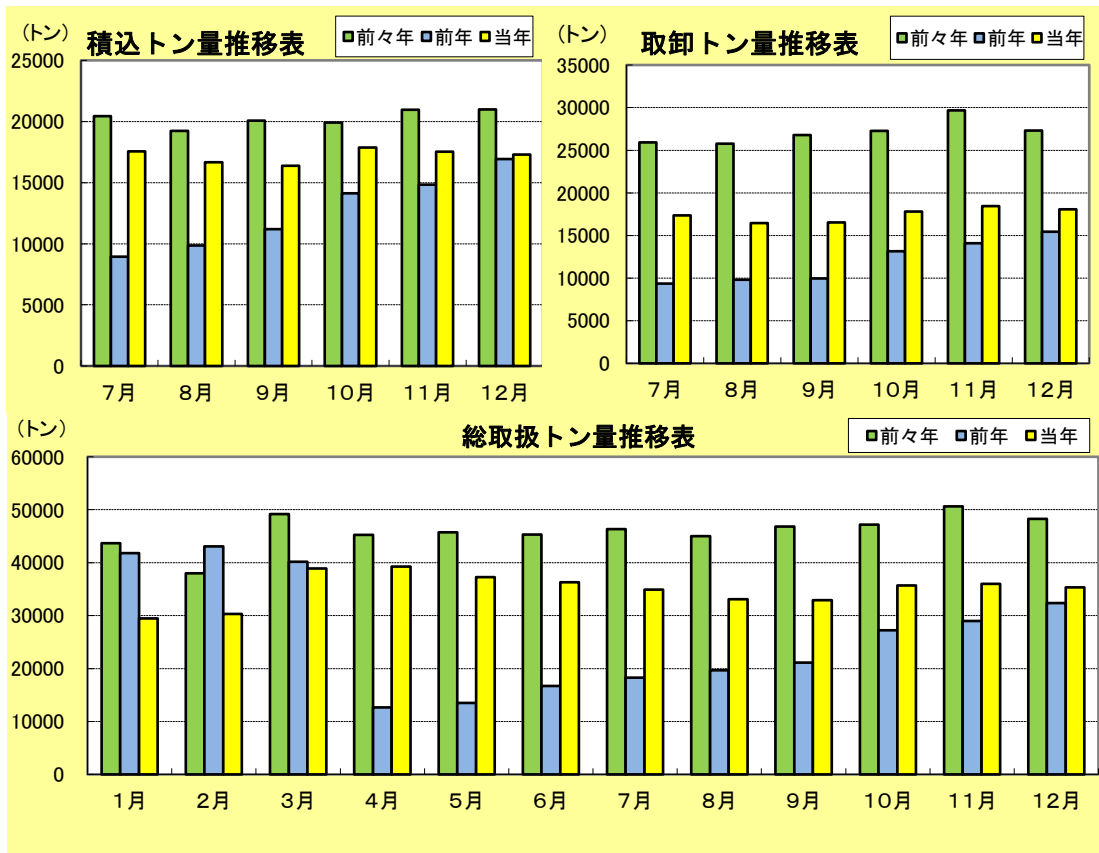
2021年12月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 35,358トン(前年同月比 9.2%増)

積込量 17,282トン(同 2.1%増)

取卸量 18,076トン(同 17.1%増)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量と取卸量が9カ月連続でプラス、積込量は10カ月連続でプラスとなった。



1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,275トン(前年同月比 43.3%増、シェア13.0%)

その他地域通関 8,522トン(同 15.6%増、同 87.0%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、10カ月連続でプラスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 5,538トン(前年同月比 24.0%増、シェア 46.9%)

その他地域通関 6,260トン(同 30.2%増、同 53.1%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、9カ月連続でプラスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 7,485トン(前年同月比 13.6%減)

取卸量 6,278トン(同 1.9%増)

となり、前年同月比で見ると、積込量は10カ月ぶりにマイナス、取卸量は9カ月連続でプラスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2021年12月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 1,169トン(前年同月比 50.3%増、シェア 21.1%)

ドライ貨物 4,369トン(同 18.5%増、同 78.9%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等18.5%(前年同月比82.1%増)、水産物35.4%(同9%減)、果物11.4%(同409.8%増)、植物(切花等)11.2%(同140.4%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2021年12月			2020年12月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	5,538	124.0%	100.0%	4,465	54.9%	100.0%
生鮮	1,169	150.3%	21.1%	778	76.5%	17.4%
ドライ	4,369	118.5%	78.9%	3,687	51.8%	82.6%